

～本の魅力、物語の楽しさとは～

皆さんの思い出に残っている本は、どんな本ですか？

大人になったある日、私は雑貨屋の店先で1冊の絵本を見つけました。それは、『わたしのワンピース（絵・文/西巻茅子）』という絵本で、幼稚園に通っていた頃、何度も借りた絵本でした。その絵本を見た瞬間、夢中になって絵本を見ていた頃の記憶が一気によみがえり、思わず絵本を手にとって、懐かしさに浸りながらページをめくりました。ディズニーキャラクターのベルが野獣の館で図書室を案内されて大喜びするシーンのように、私も、絵本がたくさん並んでいる幼稚園の図書室が大好きでした。絵本を借りる日が楽しみで、次に借りる絵本はどれにしようか悩み、決めた1冊の絵本を大切に絵本袋にしまって大事に抱えて持ち帰ったことを思い出しました。

では、絵本の魅力とは何でしょうか。どうして大人になった今でも、また読みたくなるのでしょうか。絵本を読んでくれた母親や幼稚園の先生、ときには父親の声を聴きながら、ページごとに広がる絵の世界から想像する物語のおもしろさがあります。読み手によって雰囲気が変わることさえ、子どもながらに楽しんでいたことを思い出します。ページをめくるときのドキドキした気持ち、絵本のフレーズを覚えて一緒に声を出して読む一体感もありました。

字が読めるようになると、自分のペースで読み進めることができるようになり、やがて絵本から物語の本へと興味が広がっていきました。時にはページを戻って登場人物の気持ちを確かめたり、感情に寄り添ったりしながら物語にのめり込む楽しさを知りました。まさに、『赤毛のアン』の翻訳者である村岡花子さんの言葉にあるように、「想像の翼を広げる」体験です。

現代は、動画を1.25～2倍速で観ることができる世の中になりました。そんなデジタルな時代だからこそ、アナログな本の世界を自分のペースで、ゆったり味わう時間がとても貴重に感じられます。図書館や本屋さんで好きな絵や物語を探す時間は、心をほっこりとさせてくれることでしょう。歳を重ねた今でも、本を開く時間は大切なもので、親子で絵本を読んだ記憶は、いつまでも輝く宝物です。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時 ☎052-261-9671